

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

社会教育課長 福岡直

電話番号

0852-22-5910

事務事業の名称	家庭教育の支援体制整備事業	
目的	(1) 対象	県民（PTA）
	(2) 意図	学校・家庭・地域社会が一体となって「地域の子どもを地域で育てる」気運の一層の醸成を図り、家庭教育の支援体制を構築する。
事業概要	県レベルの各PTA役員等の資質等の向上及び各PTA連合会の連携強化と活動意欲の高揚をめざし、各PTA役員等を対象に研修会を開催する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	県内各PTA連合会の指導者合同研修会の参加者	目標値		200.0	200.0	200.0	人
	式・定義	県内各PTA連合会の指導者合同研修会の参加者	実績値	134.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	1,058	1,110
うち一般財源(千円)	1,058	1,110

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・県内4つのPTA連合会の連合組織とその主催事業である合同研修会について、各PTA連合会の総会、役員会、広報誌等で周知されることで、その存在が認知され、合同研修会への参加者数も年々、増加している。しかし、PTA役員等は単年度で交代する現状があり、参加者も入れ替わることから毎年開催している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・島根県PTA連合会合同連絡協議会（4つのPTA連合会の連合組織）において、各PTA連合会や単位PTAの状況や活動について、意見交換を行う中で、その時その時の共通の課題を捉え、研修内容に反映できている。  
 ・また、その際、毎年参加者アンケートの参加者の意見を元に協議をすることで、PTA役員等のニーズにあった研修内容、形態で実施することができている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・研修の参加者が研修で学んだことを活かして、PTA連合会や単位PTA活動の活性化が十分に図られているとは言えない。

②困っている状況が発生している「原因」

・参加者が研修会において、学んだことが各PTA連合会、単位PTAにおいてどう生かされたか、実践につながったかを把握することができていない。研修後の参加者の意識の変容や実践へ向けての意欲を知る手立てを講じていない。

③原因を解消するための「課題」

・参加者の研修後の意識の変容や実践へ向けての意欲を知るためにアンケート等の手立てを講じ、その結果を元に次年度の研修計画を作成する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・島根県PTA連合会合同連絡協議会（4つのPTA連合会の縁郷組織）において、アンケート内容等について協議し、アンケートを実施するとともに、アンケートの結果を次年度の研修内容に反映できるようにする。  
 ・実践に活かせるように研修会の開催時期をもう少し早い時期にすることについても検討をする。

9. 追加評価（任意記載）

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。